

# オウム対策住民協議会ニュース No. 3

足立入谷地域オウム真理教（アレフ）対策住民協議会

## “戦いは終わったわけではありません”

足立区長 近藤やよい

10月25日、住民協議会の齋藤会長、足立区町会・自治会連合会の有馬会長とともに、「団体規制法に基づくアレフに対する観察処分更新を求める署名」、及び「観察処分更新に関する要請書」を法務大臣と公安調査庁長官にそれぞれ提出いたしました。



平岡法務大臣に署名を提出

これを受ける形で、法務大臣は、11月1日の記者会見の席上、「地域住民が不安な状況に置かれており、期間更新の方向で進めていかなくてはいけない」との認識で作業を進めている」との方針を示しました。

この25万筆という数字は、入谷地区の皆様のお死の訴えを、区民の皆様が自らの問題として捉えていただいた結果であり、署名活動に奔走された協議会や町会・自治会の役員の皆様に、心から感謝を申し上げます。

一方、オウム真理教一連の事件を巡る裁判は、

11月21日に元幹部の遠藤誠一被告に対する最高裁判決で終結しました。今回の判決報道によって、社会の関心が高まったことは意義深いことでしたが、逆に「区切りがついた」と一気に風化が進んでしまっているのではないかと懸念しております。また、事件を知らない若い信者が増えていることや、今また、麻原返り（麻原回帰）しているという情報を聞くと、改めて区民の皆様が不安を取り除くため、あらゆる対策を講じていかなければならないという思いを強くしています。

刑事裁判は終結しても、足立区と区民にとっては、係争中の民事裁判を含め、彼らとの戦いはまだ終わってはいません。まずは、1月下旬に予定されている観察処分の更新を確実なものとし、関係機関と連携し、引き続き、解散、撤退に追い込むための活動を推し進めてまいります。

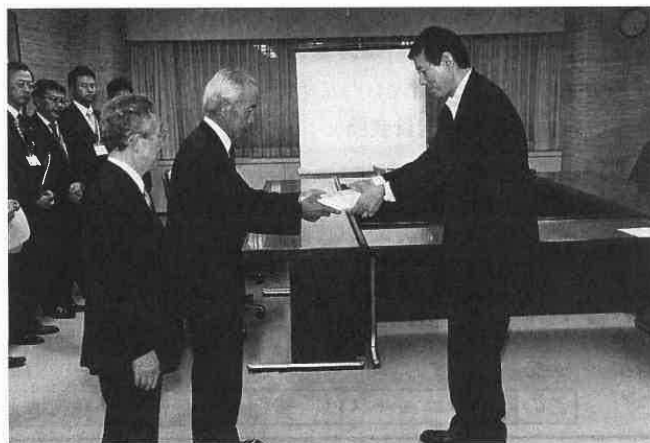
### 署名と要請書を国に提出

協議会会長 齋藤洋一

去る10月25日（火）、近藤足立区長が要請書を、有馬会長（足立区町会・自治会連合会）と当協議会は、無差別大量殺人行為を行ったオウム真理教（アレフ・ひかりの輪）に対する「観察処分更新を求める署名」、25万2千182筆を、平岡法務大臣、尾崎公安調査庁長官に提出してまいりました。

このように多くの署名が集まりましたのは、足立区内は勿論の事、隣接する地域また区外の多くの方の貴重な一筆々々があったからと思っております。ご協力いただいた皆様には厚く御礼申し上げます。オウム（アレフ）は土地・建物を所有しているので、

住民協議会としては、永きに亘る活動をしていかなければならないと思っております。地域住民の不安、脅威を取り除いていくには、私たちの活動を始め、国等の力が大きいと考えています、今後も皆様のご協力を頂きながら活動に邁進していく所存でございます。



尾崎公安調査庁長官に署名を提出

### 公安調査庁「観察処分」更新請求

公安調査庁は11月28日、来年1月末期限が切れるオウム真理教（アレフ）や「ひかりの輪」に対する観察処分の期間更新を公安審査委員会に請求した。

オウム真理教（アレフ）に対する観察処分の更新請求は2008年に続き4回目。同庁は松本智津夫（麻原彰晃）死刑囚への回帰が強まっていると見ており、解除した場合、無差別大量殺人行為に結びつく恐れが大きいとしている。

## 第五回アレフ解散・解体デモ

### 200人が集結行進

11月5日(火)、秋晴れの中、地域住民、自治会、他町会総勢200名が参加。横断幕を先頭にのぼり旗、はち巻、タスキをし「オウムは要らない」「早く解散しろ」等のシュプレヒコールを上げながら約1.5kmを行進した。教団施設前では、幹部の呼び出しを行ったが姿を見せなかったので「あなた方「アレフ」を一日も早く解散させる為に、我々のこの活動を今後も強力に推し進めることを宣言する」といった抗議文を読み上げた後ポストに投函。その後、集会場所の旧入谷南小体育館まで行進した。



入谷施設前にて

## 住民協議会活動報告

- 7/26 第3回オウム真理教対策勉強会 議員会館  
第2回口頭弁論傍聴(道路占用不許可処分取消)
- 9/04 街頭署名活動 竹の塚駅
- 9/11 街頭署名活動 北千住駅
- 9/13 第2回口頭弁論傍聴(過料処分取消)
- 9/15 街頭署名活動 綾瀬駅
- 9/24 街頭署名活動 西新井駅
- 10/05 第3回口頭弁論傍聴(道路占用不許可処分取消)
- 10/09 街頭署名活動 荒川河川敷 区民祭
- 10/16 街頭署名活動 北足立市場
- 10/25 「観察処分の期間更新」の署名および「要請書」  
を法務大臣と公安調査庁長官に提出
- 11/02 第4回オウム真理教対策勉強会 議員会館
- 11/05 第5回デモ及び集会  
(講演者 中村裕二弁護士 高橋シズエ氏)
- 11/12 オウム鳥山地区協議会のデモ及び集会に参加
- 11/16 第4回口頭弁論傍聴(道路占用不許可処分取消)
- 11/22 第3回口頭弁論傍聴(過料処分取消)

集会後、地下鉄サリン事件で夫を失った高橋シズエさんと、「オウム真理教犯罪被害者支援機構」副理事長の中村裕二弁護士の講演があった。

高橋さんは、被害に遭われてからの自身の苦勞されたことや、また映像では被害に遭われた家族の無念さ苦勞を見て、会場より嗚咽が漏れ聞こえる場面もありました。

中村弁護士は、オウム信者に殺害された坂本弁護士の青春時代の手紙を朗読。志半ばでの友の無念さに胸が詰まったのか、絶句される事もあり親交の深さを感じました。

講演を聞いた住民の一人は、「地下鉄サリン事件被害者の方々之苦悩を目にして、改めてオウム真理教に対し憤りを感じ、自分の身に置き換えて考えたらこれ程恐怖を与える団体はない、即刻解散させたい」と話していました。

最後に「このようなテロ活動を再びさせないよう皆さんと共に協力し活動を進めていくことが必要」といった呼びかけがあり、我々もより以上の運動を展開しなければと思いました。

なお中村弁護士は、現在足立区とオウムが係争中の「道路占用不許可処分取消請求事件」「過料処分取消請求事件」裁判の担当をしております。(広報部記)

## 募 金 活 動

5/21	総会	募金	7,000
	八幡木 町会	寄付	20,000
5/21	総会	募金	15,395
6/21	集会	募金	42,120
7/26	入谷自治会	盆踊り募金	22,740
	入谷町会	盆踊り 募金	62,780
	舎人自治会	募金	10,818
	古千谷本町町会	募金	35,475
	舎人町会	お祭り 募金	6,310
	一休会	寄付	30,000
	入谷町会	寄付	150,000
	小川様	寄付	5,000
	城北信用金庫入谷舎人支店	(協賛金)	50,000
	足立成和信用金庫入谷支店	(協賛金)	30,000
	東京スマイル皿沼支店	(協賛金)	30,000
	滝野川信用金庫入谷舎人支店	(協賛金)	10,000
	舎人地区対運動会	募金	17,985
	足立区保護司会西新井第4分区有志		31,960
11/05	集会会場	募金	30,662
	高橋シズエ様	寄付	20,000
	合 計		628,245

皆様の御協力・御支援ありがとうございました

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています